

6月 ギャラリー & 県民講座

あびこ市民プラザ
 ◆第28回 墨雅会展
 日1日(金)～5日(火)10時～18時(初日14時～、最終日15時まで)
 問篠田☎7182-2842
 ◆第4回 天神書道会展
 日9日(土)～13日(水)10時～17時(最終日16時まで)
 問児玉☎7182-1623
 ◆第18回 現代アート遊展
 日15日(金)～20日(水)10時～17時(初日13時～、最終日16時まで)
 問亀田☎7182-6550
 ◆第54回 我孫子墨絵同好会展
 日22日(金)～26日(火)10時～17時(初日13時～、最終日16時まで)
 問山口☎7184-6867
 ◆写生画友会 第13回 水彩画展
 日29日(金)～7月4日(水)10時～18時(初日13時～、最終日17時まで)
 問鈴木☎7139-6678

図書館 1日(金)～30日(土) 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)
湖北台分館 (5日(火)～8日(金)は特別整理のため休館)
 ◆折り紙「あじさい」 高垣多与子
布佐分館 (19日(火)～22日(金)は特別整理のため休館)
 ◆「あびこ町・むかし道」8点 小橋孝道

アビスタストリート 開館時間：9時～21時 休館日：25日(月)
 ◆水彩会作品展
 日～3日(日)(最終日15時まで)
 問長谷部☎080-5377-1946
 ◆松本真弓と仲間達の絵画
 日4日(月)～16日(土)(初日11時～、最終日15時まで)
 問松本☎090-1818-9376
 ◆男女共同参画月間パネル展
 日17日(日)～30日(土)(初日12時～、最終日16時まで)
 問秘書広報課☎7185-1752

けやきプラザ 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)
第2ギャラリー
 ◆松江剛三 水彩展
 日26日(火)～7月1日(日)10時～18時(初日13時～、最終日15時まで)
 問松江☎090-3537-3552
第1・2ギャラリー
 ◆我孫子アートな散歩市
 日～3日(日)11時～18時(最終日17時まで)
 問関谷☎090-4206-6242
 ◆ごよう書作展
 日12日(火)～24日(日)10時～18時(初日13時～、最終日16時まで)
 問安田☎047-368-1045

アビシルベ 問 ☎7100-0014
 開館時間：日～木曜日9時～18時、金・土曜日9時～19時
 ◆フラロハ展示
 日～1日(金)(最終日12時まで)
 ◆ハーバリウム&プリザーブドフラワー展示
 日6日(水)～14日(水)(最終日16時まで)
 ◆アビストリーム「アビスト de Night☆」LIVE放送
 日15日(金)18時～19時
 ◆あびマルシェ「ハーバリウム&プリザーブドフラワー販売」
 日16日(土)・17日(日)10時～16時
 ◆音と光の万華鏡展
 日19日(火)～30日(土)

けやきプラザ県民講座・講習
 ◆やさしい家庭の介護Part1
 日1日(金)・8日(金)・15日(金)・22日(金)13時30分～15時30分
 所7階介護実習室
 講師高橋芳恵さん(千葉県ホームヘルパー協議会副会長)ほか
 定25人(要申込)
 ◆ピンピンコロリの快老術
 日6日(水)10時～12時 所7階研修室
 講師片山信雄さん(健康生きがいアドバイザー)
 定60人(要申込)
 ◆やりがいと役立ちがいのすすめ
 日27日(水)13時30分～15時30分 所7階研修室
 講師木村清一さん(東京大学高齢社会総合研究機構)
 定60人(要申込)

けやきプラザ県民講座・講習 問・圖 電話で住所・氏名・電話番号を明示。千葉県福祉ふれあいプラザ☎7165-2886 受講料 無料 休館日 月曜日(月曜日が休日の場合は翌日火曜日)
 ※専門職対象県民研修はホームページwww.furepla.jpをご覧ください。



おまつりスタンプラリー対象
「ほくほく北まつり」
 初夏の爽やかな午後をご家族で楽しくどうぞ

日時 6月9日(土)午後2時～7時(荒天中止)
場所 湖北駅北口(ロータリーからスーパーマスタ前)
内容 太鼓やダンスの路上パフォーマンズ、我孫子東高校バンド演奏、河童音頭大行進、「湖北の市」とフリーマーケット、ビンゴゲーム、キックターゲット、射的ゲームなど。(ビンゴは雨天でも実施)
問 商工会湖北地区会・川村☎090-2625-6529



楽白樺の調べ



市民スタッフによる朗読とピアノ演奏、学芸員の軽快なトークをお楽しみいただきます。6月は朗読コラボです。
日時 6月24日(日)午後2時～3時
場所 白樺文学館1階ピアノサロン
定員 先着20人
費用 無料(ただし入館料がかかります)
入館料 300円(高校・大学生200円、中学生以下無料)
問 白樺文学館☎7185-2192

我孫子市書道連盟結成45周年記念事業
特別講演会「古典とのつき合い方」

我孫子市書道連盟の結成45周年を記念して、現在、書道界で広く活躍している松川昌弘さんをお招きし、「古典とのつき合い方」をテーマに講演します。「席上揮毫」あり。
日時 6月30日(土)午後2時～4時30分(1時30分開場)
場所 市民プラザホール
定員 先着150人※申込不要
費用 無料
問 我孫子市書道連盟・河野☎7182-9065



将門伝説の地、我孫子 日秀113の1ほか



みなさん、こんにちは。今回は県立湖北特別支援学校(日秀70)を出て東へ向かいつきあたりを右に曲がります。すると、坂道の途中に三又に分かれる道があります。今回は、その左右の道の先にある将門神社と将門の石井戸についてのお話をしましょう。
 ▲将門神社
 平将門は平安時代中期の関東の豪族で、朝廷に対抗して「新皇」を自称し、東国の独立を計画した人物です。しかし、即位後わずか2カ月たらずで藤原秀郷、平貞盛らによって討伐されました。その将門を祭る将門神社と将門の石井戸が我孫子にあるのです。
 神社の創立は不明ですが、記録上、日秀村は元禄5(1692)年に新木村より分割された村となっています。しかし、寛文12(1672)年に建てられた碑には「日出村」と書かれていることから、分割以前から人が集っていたことがわかります。そして神社の近くには、将門の石井戸があります。古くは東の方角は井戸を開くのに吉方で、井戸は将門神社の真東にあり、神社との関係がうかがえます。
 残念ながら将門がおこした乱の顛末を書いた『将門記』には、我孫子の記述は見当たりません。ただ、ここで重要なのは『湖北村誌』に「日秀村氏子の当社に対する信念は、他に多く其の類例を見ざるものにして…」とあるように、将門伝説が地域の連携を強めるために一役買っていたことです。時代を超えても英雄は人々にとって大切な役割を果たすのです。

